

平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第3回）概要

日時：平成25年10月22日（火） 午前9時30分から午前11時30分まで

場所：千葉県教育会館 608号室（本館6階）

〔委員等〕

石井信代委員長，田中庸恵副委員長，鈴木宏子委員，尾崎由紀子委員，高岡正幸委員，森谷英一委員，小西則子委員，太田公昭委員（石川善昭委員代理），大木茂委員，関紀子委員，佐久間勝彦委員，齋藤一浩委員，川崎宏薫委員，中村美彦委員

教育振興部長，教育政策課長，指導課長，教職員課長，教育振興部副参事兼指導課学力向上室長

1 開会のことば

2 県教育委員会挨拶

3 報告

（1）平成25年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第2回）の概要について

（2）平成26年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項について

（3）平成26年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法（予定）の公表について

（4）専門部会の報告について

4 協議

（1）平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

（2）今後の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について

5 閉会のことば

【質疑・協議結果】

（1）平成27年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について，協議を行った。

主な意見等は次のとおりである。

- ・選抜日程は，私立高等学校や国立高等学校とも，可能な限り調整し作成してほしい。

（2）今後の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について，協議を行った。

主な意見等は次のとおりである。

- ・選抜の実施時期について，その日程調整に苦勞すること一つをとってみても，現行の2回の選抜に問題があるので，ぜひ一本化してほしい。
- ・まず先に，現行制度の課題となっている点の改善にすぐに取り組んでほしい。
- ・一回の選抜であれば一回で合格できたはずが，わざわざ二回受けさせられている生徒が多いのではないか。
- ・前期選抜において不合格であった受検生のうち，後期選抜においても同一高等学校・学科を受検した者と別の高等学校を受検した者の数とを比較し検討する必要がある。
- ・現行の選抜制度で入学した生徒が卒業する時に，卒業生や高等学校にアンケートを実施し，選抜制度について確認することが，制度を検討する最もよい方法である。
- ・生徒・保護者にとっては，前期選抜で体調不良により力を出せなくても，もう一度あらためて受検できるという安心感を持つことができるので，2回の選抜を行うことは必要であるというアンケート結果になったことは十分理解できる。
- ・2回の選抜があることで，選抜に係る期間が長く，中学校・高等学校においては提出書類の作成・評価等，選抜事務が大変である点は十分考えなければいけない。
- ・現行制度における課題を改善できれば，前後期制もよいと考える中学校長もいるので，更に議論を詰めていくべきである。
- ・2回の選抜があることにより，生徒は，前期選抜では不合格でも後期選抜を受検できるという安心感が持てることを考えて，現行制度がよいとしている中学校長もいる。
- ・アンケート調査の生徒・保護者が，選抜が2度あることで，安心できると回答していることは，尊重すべきである。
- ・例えば，志願理由書を廃止する等，運用方法を簡素化するという改善ができるならば，現行の制度でよいのではないか。
- ・大学入試において，高校在学中に複数回試験を受けることができる選抜制度を実施する方針が出されたので，高校の選抜においても，それを踏まえて検討してほしい。
- ・選抜制度の理念がどのように変わるのかを県民にわかりやすく説明することが必要である。

なお，平成27年度の千葉県公立高等学校入学者選抜日程及び今後の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方については，次回の協議会でも継続して協議する。